

## ✖ ホームページのご案内



### お知らせ

イベントの出展のご案内、新製品や新商品等さまざまな情報を更新しております。

### IRニュース

株主・投資家向けに、プレスリリースや適時開示、決算短信等を公開しております。

当社ホームページでは、会社概要や事業内容の基本情報をはじめ、IR情報や製品情報等の最新ニュースやプレスリリース等、さまざまな情報を公開しております。



- トップページ <https://www.ibc21.co.jp/>
- IR情報 <https://www.ibc21.co.jp/ir/>
- プロダクト <https://system-answer.com/>

## 株主メモ

証券コード 3920  
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
事業年度 毎年10月1日から翌年9月30日  
定時株主総会 毎事業年度終了後3か月以内  
基準日 毎年9月30日  
剰余金の配当の基準日 毎年9月30日、毎年3月31日  
1単元の株式数 100株  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒137-8081  
及び電話照会先 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話：0120-232-711 (フリーダイヤル)  
取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店  
公告掲載方法 電子公告により行います。  
公告掲載URL：<https://www.ibc21.co.jp/>  
やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。



環境に配慮した FSC® 認証紙と 植物油インキを使用しています。



# BUSINESS REPORT

アイビーシー株式会社 2019年9月期  
(2018年10月1日~2019年9月30日)

証券コード：3920

## ✕ トップメッセージ



iChain株式会社及び株式会社サンデーアーツが傘下に加わり、連結決算に移行。IBCグループとして、新たな成長ステージに挑みます。

株主の皆様におかれましては、日頃より当社事業へのご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度の相次ぐ自然災害により被災された皆様には、心よりのお見舞いと1日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は2002年の創業以来、ネットワークシステムの稼働状況や障害発生の予兆等を監視する「ネットワークシステム性能監視ツール」のパイオニアとして、ネットワーク社会の安全・安心を支えてまいりました。近年では、ブロックチェーンやIoTセキュリティといった最先端技術にも積極的に挑戦し、事業領域を飛躍的に拡大しております。2019年9月期から、ブロックチェーンテクノロジーをベースに保険業界にイノベーションを起こすべく設立した子会社iChain株式会社や、株式交換で完全子会社化したブロックチェーン開発で実績のある株式会社サンデーアーツの2社が連結対象に加わり、連結決算に移行しております。

ここに2019年9月期の営業状況と、今後の成長に向けた取り組みをご説明いたしますので、ご一読の程お願い申し上げます。

代表取締役社長 加藤 裕之

### 2019年9月期の事業環境と経営成績

**子会社の開発投資が増え、利益水準は計画を下回りましたが、単体では前年比で増収増益となりました。**

国内景況は緩やかな回復基調が継続しましたが、世界経済の下振れリスクが増大するなど、景気の先行きは不透明な状況となってきました。情報サービス業界では、デジタルトランスフォーメーション(DX)に対応した環境整備への投資が活発になっており、クラウド環境への移行や、業務プロセスの自動化に向けた取り組みなどがみられました。

こうした環境の中、当社は主力製品であるネットワーク性能監視・情報管理ツール「System Answerシリーズ」の機能拡張やサポート強化、パートナー企業との連携強化などに継続して取り組みました。このほかIoTやブロックチェーンといった最先端の情報技術を活用した新規事業の育成にも注力し、M&Aによる事業規模の拡大にも精力的に取り組まれました。

こうした取り組みの結果、2019年9月期の経営成績は、売上高が1,833百万円、営業利益が244百万円、経常利益が223百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は134百万円となりました。

なお当社は2019年9月期から、連結決算に移行しております。売上高はほぼ期初計画通りの水準となりましたが、新たに連結対象に加わった子会社iChain株式会社が手がけるインシュアテック事業関連の開発投資が増加したことが主因となり、利益水準は期初計画を下回りました。一方で単体実績としては前年比で増収増益となっております。

### 今後の成長戦略

**主力製品の販売促進とともに、期待の新規ビジネスが相次ぎスタート。**

当社グループは新製品発売、サービス領域拡大、成長分野進出、という3つの戦略を通じてさらなる成長を図っています。第一の新製品発売については、主力のネットワーク性能監視・情報管理ツールの最新バージョンである「System Answer G3」の販売促進に引き続き注力しており、既存顧客に対して旧バージョンからの移行を働きかけるとともに、新規顧客の開拓にも取り組んでいます。第二のサービス領域拡大についても、品質管理やセキュリティ対策といった、「System Answerシリーズ」と相乗効果のあるソ

## 私たちIBCのCSR活動の新たな展開

当社では、CSR活動を企業の重要課題と捉えております。コーポレート・ガバナンスやリスクマネジメントを柱としたこれまでの取り組みに加え、このたび新たに、新入社員・若手社員が中心となって、自分たちでもできる「持続可能な」活動について考え、具体的なアクションへと繋げていく取り組みを開始いたしました。



### コーポレート・ガバナンス

当社は、内部監査室の設置、内部統制の整備を行い、業務の適正性を確保するための活動を行っており、企業としての社会的責任を果たすための活動を推進してまいります。



### SDGsが目指す持続可能な社会の実現に貢献すべく「世界を変えるための17の目標」への取り組みを開始

#### 1 Environmental Initiatives 環境への取り組み

調達品をグリーン購入へ切り替え。廃棄していた広告FAXや雑誌の裏面を利用し、メモ帳としてリサイクルする「メモ帳運動」の実施。



#### 2 Social Contributions 社会貢献

ペットボトルキャップ回収の売上を「NPO 法人世界の子どもにワクチンを」へ、使用済切手を集め、「公益社団法人日本キリスト教海外医療協会」へ寄付。



#### 3 Work Style Reform 働き方改革

産後も女性が安心して働ける環境作り、男性も積極的に育児に参加できる環境作りを目指し、育児休暇の活用を促進。また、在宅勤務制度を新たに導入。



#### 4 Innovation 技術革新

「kusabi™」では、全てが繋がる時代の「個の認証」に対して、トレーサビリティを実現すべく、応用できる技術開発を推進。



### リスクマネジメント

日本工業規格JIS Q 15001:2017に従い個人情報保護マネジメントシステムを整備。2019年10月に、一般財団法人日本情報経済社会推進協会よりプライバシーマークの付与認定を受けております。



◀ これからの IBCグループの健全かつ持続的な成長を支える経営基盤の整備・強化 ▶

リユースを拡充しており、お客様の課題をワンストップで解決できる「IBCソリューション」として、高い評価をいただいています。

第三の成長分野進出については、新たな動きが相次いでいます。IoTセキュリティ基盤サービス「kusabi™」は、ブロックチェーン技術などを駆使し、ソフトウェアだけでIoT技術を実現するという画期的なもので、現在は顧客企業に対して実証実験の支援サービスを展開しています。この実証実験が終われば、「kusabi™」は急ピッチで普及していく見通しです。また、子会社のiChain株式会社が手がけるインシュアテック事業では、現在、保険ポートフォリオ管理アプリ「iChain保険ウォレット」をスマートフォン向けに提供しています。まだ開発投資が継続している段階ですが、コンセプトが非常にユニークなものなので、早期に黒字化を達成させたいと考えています。

### 2020年9月期の業績見通し

#### 子会社での開発投資が一段落し、再び増収増益基調へ。

事業環境に大きな変化はないとみており、2020年9月期も引き続き「System Answerシリーズ」の販売促進に注力してまい

ります。成長分野関連では、開発投資が膨らんでいたiChain株式会社の開発が終了し、保険業務プラットフォーム「iChainBase」がローンチ見込みです。少額短期保険設立コンサルと合わせることで、設立から運用まで一貫したソリューションを提供する体制が整います。同サービスにより早期の収益回復を目指してまいります。また、2019年4月に子会社化した株式会社サンデーアーツにおいても、ブロックチェーン技術などを取り入れた新規システムの開発を推進し、収益拡大を図っていく考えです。

こうした取り組みを通じ、2020年9月期には再び増収増益基調へと転じることができるとみております。連結業績については、売上高2,555百万円(前期比39.4%増)、営業利益352百万円(同44.1%増)、経常利益311百万円(同39.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益212百万円(同57.4%増)と予想しています。

### CSR活動について

#### CSRは経営の最重要課題の一つ。若手社員主導でSDGsへの取り組みも開始。

当社は、CSR活動を企業の重要課題と捉え、SDGsが目指す持

続可能な社会の実現に貢献する企業であり続けるために、「世界を変えるための17の目標」への取り組みを始めました。新入社員や若手社員が中心となり、自分たちでもできる持続可能な活動についてアイデアを出し合い、取り組むべき課題を設定しました。在宅勤務制度の導入や「kusabi™」による技術革新など、我々の身の丈に合った努力を継続していくことで、持続可能な社会の実現に少しでも貢献できればと願っています。

### 株主の皆様へ

#### リスクを恐れず果敢に挑戦し、中長期的な成長を目指してまいります。

このたび私は、『デジタル時代を生き抜く「エモーショナル経営』』という書籍を上梓いたしました。創業からこれまでの私の多くの失敗談や成功例を紹介しつつ、「デジタル」とは対極にある「エモーショナル」な感情こそが、ビジネスや経営を成功に導く鍵なのだという、私の思いをまとめました。リスクを恐れずに挑戦することの大切さも説いたつもりです。機会がありましたら、株主の皆様にもぜひご一読いただきたいと思います。

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題と認識しておりますが、成長の途中段階である現状においては、事業拡大のための投資等を優先させていただきたく、2019年9月期の配当につきましては無配とさせていただきます。株主の皆様には当社グループの中長期的な成長にご期待いただき、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



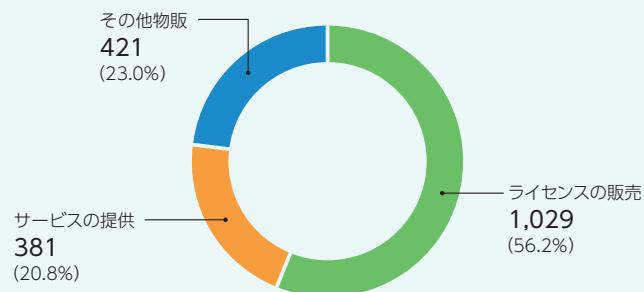
### 売上高

(百万円)



### 売上高の内訳

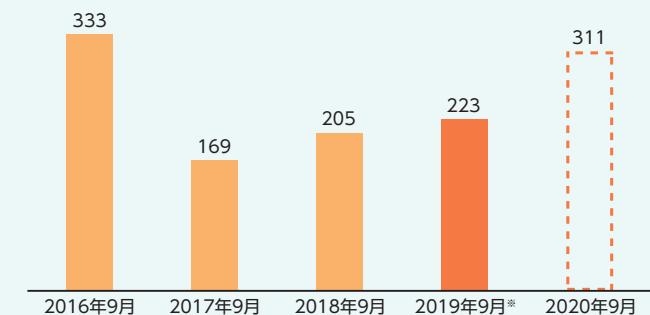
(百万円)



※当社は2019年9月期より連結決算に移行しております。

### 経常利益

(百万円)



※当社は2019年9月期より連結決算に移行しております。

### 親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)



※当社は2019年9月期より連結決算に移行しております。

## ✖ SUSTAINABLE IBC ~IBCの進化と成長は止まらない~

### 知的財産や事業パワーの不断の強化

今期においては、情報管理「System Answerシリーズ」のラインアップ充実や、来年4月から厳格化される電気通信事業法への早期対応が可能なIoTセキュリティ基盤サービス「kusabi™」

導入支援の新サービス開始、さらには株式会社NSD先端技術研究所設立への参画など、年間を通じて多角的にIBCグループの成長を推進することができたものと一定の手応えを感じています。

# Ongoing

2018.12.03

「System Answer G3」の仮想アプライアンス版の提供を開始

2018.12.06

CSA- JC (一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス)の企業会員に入会

2018.12.13

テナブル社のシルバーパートナー認定資格を取得、同社サイバーエクスポージャーによりセキュリティポートフォリオを強化

2018.12.19

子会社iChain (株)が三井住友海上火災(株)とのサービス連携を開始

2019.04.01

簡易株式交換により(株)サンダーアーツを完全子会社化

2019.04.03

「System Answerシリーズ」向けの「冗長化構成パック」の提供を開始

2019.04.16

IoTセキュリティ基盤サービス「kusabi™」のホワイトペーパーを発表

2019.04.25

(株)NSD先端技術研究所へ出資

2019.05.14

IoTセキュリティ基盤サービス「kusabi™」の実証実験支援サービスを開始

2019.08.01

ナビプラス(株)よりセキュリティ事業を譲り受け

2018.11.08

子会社iChain (株)が加入保険管理アプリ「iChain保険ウォレット」をバージョンアップ(ユーザーインターフェースの刷新)

2019.02.04

「System Answerシリーズ」向けの「バックアップシステム構築サービス」を開始

2019.06.01

Yellowfin Japan (株)、シースリー (株)と「System Answer G3」の自動レポート作成オプション販売に関する協業を開始

2019.06.05

APRESIA Systems (株)が開発した高度パケット監視制御機能「パースレコーダー」と「System Answer G3」の連携を開始

2019.06.07

CCDS (一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会)の企業会員に入会

2019.03.11

子会社iChain (株)が加入保険管理アプリ「iChain保険ウォレット」をバージョンアップ(ダッシュボード機能の追加)

## Core Progress

### 「System Answerシリーズ」のさらなる進化、提供形態拡充および新機能実装

ネットワークシステムの情報管理を通して障害発生を未然に防ぎ、見えない場所で皆様の身近な暮らしを支え続けているのが、当社の「System Answerシリーズ」です。今期は、必要となるOSや各種ミドルウェアを構築済みの状態で提供する仮想アプライアンス版が「System Answer G3」に登場しました。その結果、ソフトウェア版の「System Answer G3」、仮想アプライアンス版の「System Answer G3 Virtual Appliance」、クラウドサービス版の「System Answer G3 on SAMS」と3形態での提供が可能になり、お客様はご要件に応じた最適な利用形態で導入いただくことができます。加えて、監視対象機器からのPUSH監視対応やステータス監視対応など、様々な機能の追加実装も並行して機動的に進み、「System Answerシリーズ」の進化を着実に図ることができています。



### 情報監理のポイント

- 1 自動設定
- 2 自動分析
- 3 自動レポート

### 積極的な関連イベントへの出展

年間を通して関連イベントに出展し、当社が提供する各種ソリューションを紹介しています。今期は、クラウドコンピューティング関連の専門展「クラウドコンピューティングEXPO」や、ICTに関する最新技術とソリューションの展示会「Interop Tokyo 2019」に出展しました。今後もイベントへ積極的に参加し最新サービスの情報発信を実施することで、当社ブランドに対する信頼と認知度向上に努めていきます。



# Edgy Frontier

## 成長領域への進出

### 次世代MSP\*サービス「SAMS」とAIを融合した次世代型新サービスの開発

当社成長戦略の一つ「サービス領域拡大」における重点策として展開しているのが、24時間 365日の有人監視体制でお客様システムの安定稼働や障害対応、分析等をサポートする次世代MSPサービス「SAMS」です。2017年8月にリリースした本サービスですが、リリース以来、数多くの企業に導入され、翌年には総合ログ管理ツールをクラウドサービスとして提供する「LOG on SAMS」の開始などサービスの充実を図る中、日々膨大なデータが蓄積されるようになってきました。今後へ向けては、当社ならではの性能分析ノウハウを活用しながら、監視における「トラブルの未然防止」と「トータルコスト削減」への一層の寄与、さらにはビッグデータとAIを融合した次世代型新サービスの開発に着手していく計画です。

\*Management Services Provider (マネジメント・サービス・プロバイダー)の略。企業等の情報システムの運用管理を代行する事業者。

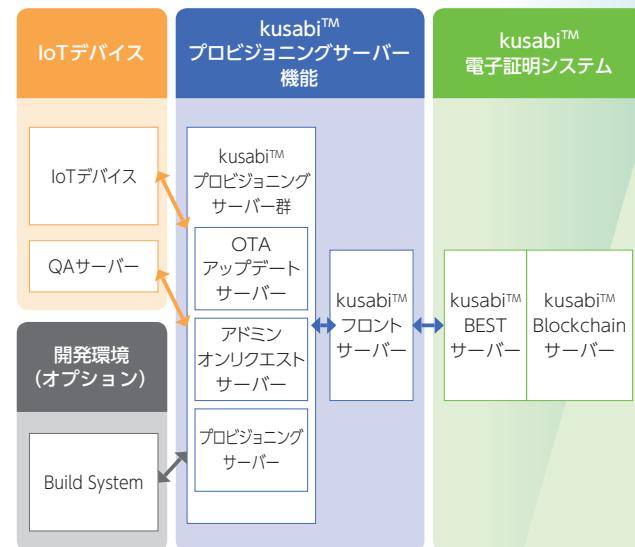
### ブロックチェーン技術強化によるインシュアテックビジネスの加速と新サービス開発の促進

本年4月に当社は、簡易株式交換により(株)サンデーアーツを完全子会社化しました。同社はブロックチェーン開発事業を展開する会社で、同技術を活用したWEBサービスやサイト構築パッケージ販売等を行っています。この度の(株)サンデーアーツのグループ会社化により、インシュアテック事業を手掛けるiChain(株)との連携を通じた、同事業の一層の推進体制を構築することができました。また、当社が展開するIoTセキュリティ及びITサービス全般においても、中長期の柱となる事業創出をグループ全体で加速できるものと大きな期待を寄せています。

### 「kusabi™」の実証実験を支援する「kusabi™ PoC支援サービス」を開始

本年5月より当社では、IoTセキュリティ基盤サービス「kusabi™」の実証実験を支援する「kusabi™ PoC支援サービス」の提供を開始しました。これまでIoTセキュリティサービスの導入にあたっては、必要とされる環境設定など様々な手間を伴いながら実証実験を行うのが一般的でした。

これに対し当サービスでは、「kusabi™」の実証実験に必要な環境を当社がすべて準備して提供するため、お客様は1ヶ月程度の準備期間で実証実験を開始することができます。また4種類から成るコンポーネント構成と様々なオプションメニューにより、お客様側の環境やニーズへの柔軟な対応が可能となっています。



# One-stop IBC Solution

## 提案の幅をこれからさらに広げ、お客様の課題をワンストップで解決

進化を続ける「System Answerシリーズ」を中心に、お客様の課題をワンストップで解決するIBCソリューションの深掘りと拡大が進んでいます。

これまでご説明した一連の取り組みのほか、加えて一例ですが、本年8月にはナビプラス(株)からセキュリティ事業を譲

り受け、WEBセキュリティの包括的サービスを提供する体制を新たに構築することができました。これからもマーケット変化に機敏に対応したサービスの積極的な提供に努め、私たちIBCの進化と成長は続いてまいります。どうぞ今後の展開にご期待ください。



## ✕ 連結財務ハイライト



より詳細な財務情報は  
<https://www.ibr21.co.jp/ir/>



2016年9月期      2017年9月期      2018年9月期      2019年9月期(連結)

### 業績データ(千円)

|                 |           |           |           |           |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 売上高           | 1,141,495 | 1,216,295 | 1,290,676 | 1,833,266 |
| 営業利益            | 292,220   | 186,795   | 202,193   | 244,408   |
| 経常利益            | 333,358   | 169,342   | 205,687   | 223,402   |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 195,205   | 115,105   | 141,977   | 134,835   |

### 財務データ(千円)

|           |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 2 総資産     | 1,668,730 | 1,660,172 | 1,924,853 | 2,676,954 |
| 純資産       | 1,366,704 | 1,503,040 | 1,692,199 | 1,627,591 |
| 自己資本比率(%) | 81.9      | 90.5      | 87.9      | 60.8      |

### キャッシュ・フロー(千円)

|                  |          |          |          |           |
|------------------|----------|----------|----------|-----------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 90,706   | △ 44,092 | 189,921  | △ 11,983  |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 69,641 | △ 57,695 | △ 80,952 | △ 415,430 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 31,308 | △ 37,565 | 32,510   | 407,982   |
| 3 現金及び現金同等物の期末残高 | 862,360  | 723,006  | 864,486  | 925,045   |

### 1株当たりデータ(円)

|            |        |        |        |        |
|------------|--------|--------|--------|--------|
| 1株当たり当期純利益 | 36.15  | 20.97  | 25.20  | 24.18  |
| 1株当たり純資産   | 250.06 | 271.47 | 297.20 | 292.93 |
| 1株当たり配当金   | —      | —      | —      | —      |

当社は2019年9月期より連結決算に移行しております。業績の推移をご覧いただくため、2018年9月期までは単体の数値を記載しております。

1

#### 売上高

ライセンスの販売は、既存顧客へSystem Answer G2から同G3への切り替え及び追加提案に注力したことや新規大型案件の受注があったことにより堅調に推移。サービスの提供は、ライセンス販売の受注に伴い発生する構築・運用サポート対応等により大幅に増加し、売上高1,833,266千円となりました。

2

#### 総資産

当連結会計年度末における資産合計は、2,676,954千円となりました。この主な内訳は、売掛金が986,702千円、現金及び預金が925,045千円、のれんが192,715千円、投資有価証券が106,840千円です。

3

#### 現金及び現金同等物の期末残高

営業活動によるキャッシュ・フローは11,983千円の支出、投資活動によるキャッシュ・フローは415,430千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローは407,982千円の収入となりました。当連結会計年度末における現金及び現金同等物の期末残高は925,045千円となりました。

## ✕ 会社概要／株式情報

### 会社概要 (2019年9月30日現在)

|           |  |
|-----------|--|
| 社名        | アイビーシー株式会社   |
| 英文社名      | IBC: Internetworking & Broadband Consulting Co.,Ltd.   |
| 本店所在地     | 東京都中央区新川一丁目8番8号  |
| 設立        | 2002年10月16日  |
| 資本金の金額    | 440,830千円  |
| 従業員数      | 69名(連結100名)  |
| 事業内容      | <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークシステム性能監視ツールの開発/販売/サポート</li> <li>ネットワークシステムの性能評価サービス</li> <li>ネットワークシステムの設計・構築、コンサルティング</li> <li>各種機器、ソフト販売</li> </ul> |
| 連結子会社     | iChain株式会社<br>株式会社サンデーアーツ  |
| 持分法適用関連会社 | 株式会社NSD先端技術研究所   |

### 役員 (2019年12月17日現在)

|            |      |
|------------|------|
| 代表取締役社長    | 加藤裕之 |
| 取締役(社外取締役) | 高木弘幸 |
| 取締役(社外取締役) | 山本祥之 |
| 取締役(社外取締役) | 梶本繁昌 |
| 常勤監査役      | 八代博隆 |
| 監査役(社外監査役) | 望月明彦 |
| 監査役(社外監査役) | 大島充史 |
| 監査役(社外監査役) | 佐藤宏  |

### 株式情報 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式総数 5,707,600株

株主数 3,242名

#### 大株主

| 株主名                        | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|----------------------------|-----------|---------|
| 加藤裕之                       | 2,046,000 | 36.84   |
| プラスフジ株式会社                  | 500,000   | 9.00    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)  | 82,900    | 1.49    |
| 瀬野陽介                       | 82,102    | 1.47    |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)    | 80,900    | 1.45    |
| 宇高淳郎                       | 71,100    | 1.28    |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5) | 68,400    | 1.23    |
| 村上彰                        | 65,300    | 1.17    |
| 株式会社NSD                    | 61,200    | 1.10    |
| 高木弘幸                       | 60,000    | 1.08    |

(注)持株比率は、自己株式154,159株を控除して算出しております。

### 株式分布状況

